令和7年度(2025年度)

熊本都市圏の渋滞解消に向けた 熊本県・熊本市 トップ会談

次 第

日 時:令和7年11月20日(木)

11:00~12:00

場 所:熊本市役所 5階 庁議室

- 1. 開 会
- 2. 熊本市長挨拶
- 3. 熊本県知事挨拶
- 4. 意見交換
- 5. その他
- 6. 閉 会

令和7年度(2025年度)

熊本都市圏の渋滞解消に向けた 熊本県・熊本市 トップ会談

出席者名簿

 熊
 本
 県
 熊
 本
 市

 知事
 木村
 敬
 市長
 大西
 一史

 副知事
 亀崎
 直隆
 都市建設局長
 上野
 幸威

 企画振興部長
 富永
 隼行
 都市建設局技監
 熊木
 雄一

 土木部長
 菰田
 武志

令和7年度(2025年度)

熊本都市圏の渋滞解消に向けた熊本県・熊本市トップ会談

令和7年(2025年)11月20日





【目次】

(1) 都市圏渋滞対策の取組状況	p.2~6
(2) 熊本西環状道路(池上工区)の開通状況	p.7~9
(3) 第二空港線の円滑化に向けた取組	p.10~11
(4) JR豊肥本線を軸とした取組	p.12~14
(5) 1万人オフピーク通勤の効果検証	p.15~18











熊本都市圏の渋滞解消に向けた取組(2024.12.26熊本県・熊本市調整会議)

加速化対策(短期) ~3年

県市で連携して取り組む 道路施策 ~車の"流れ"をよくする取組~

交差点改良や信号制御の最適化

市内)主要渋滞箇所<u>8か所</u>及びその周辺<u>3か所</u> < 8/174(約 5%)> 市外)主要渋滞箇所<u>16か所</u>及びその周辺<u>3か所</u> <16/ 52(約30%)>

■交差点改良や信号制御の最適化等の実施

<都市圏東部エリア> 14か所

- ・熊本益城大津線(第二空港線)(3か所①②⑩)〈県市〉
- •国体道路(7か所①~⑦)(市)
- ・小池竜田線(2か所89)(市)
- ・国道443号(1か所®)(県)
- ・熊本空港線(第一空港線)(1か所(9)(県)

<<u>セミコン周辺エリア</u>> <u>16か所</u>

- ・熊本大津線(3か所347)(県)
- ・大津植木線(2か所69)(県)
- ・大津西合志線(2か所5/8)(県)
- ・国道325号(1か所⑩)〈県〉
- ·住吉熊本線(6か所⑪~⑯)(県)
- ・辛川鹿本線(1か所⑪)〈県〉
- ・託麻北部線(1か所⑪)(市)

■バスベイの整備による交通の円滑化

・熊本菊陽線など(10か所)(県)

■道路ネットワーク整備の着実な推進

- ・熊本西環状道路(池上工区)A(市)
- ·(都)坪井龍田陳内線B(市)

県市で連携して取り組む 公共交通施策 〜車から公共交通への"転換"を促す取組〜

年間利用者数

路線バス)・現状(2023年) 2,449万人/年→目標(2027年) 3,000万人/年 市電)・現状(2023年) 1.009万人/年→目標(2027年) 1.170万人/年

■公共交通の利便性向上及び利用促進

- 利用促進キャンペーン(県)
- ·運転士不足対策〈県〉
- ・駅やバス停の改良〈県市〉
- ・バス・電車無料の日(市)
- ·市電3両編成導入〈市〉
- 利便性の高い料金施策〈県市〉
- ・パーク&ライド・サイクル&ライドの拡大〈県市〉
- ・シェアサイクル利用エリア拡大〈県市〉

■公共交通の輸送力強化と基盤整備

- 新水前寺バスベイ(市)
- ・バス路線網やダイヤの拡充
- ・豊肥本線の増便・増結や駅の改良
- ・従業員送迎バスの導入や共同運行

~ピーク時の交通を"分散"する取組~

1年以内に1万人規模の取組 時差出勤等に取り組む企業 200社

■集中する"時間"の分散

官公庁や民間企業の時差出勤・在宅勤務を推進〈県市〉※実施企業の宣言や認定制度等

■集中する"場所"の分散

・既存道路ネットワークの利活用







熊本都市圏の渋滞解消に向けた取組(2024.12.26熊本県・熊本市調整会議)

抜本対策(中期) 4年~10年

県市で連携して取り組む 道路施策 ~車の"流れ"をよくする取組~

主要渋滞箇所226か所のうち約80か所の改善に向け取組を強力に推進

■道路ネットワーク整備の着実な推進

- 〇高規格道路
- •中九州横断道路(国)

·熊本西環状道路(砂原工区)(市)

〇地域道路

- ・国道3号 植木バイパス〈国〉
- ·国道387号(須屋工区)<県>
- ·国道443号(空港北工区)<県>
- ·熊本高森線((都)益城中央線)(県)
- 大津植木線(多車線化・合志ICアクセス道路)(県)
- ·新山原水線((都)菊陽空港線)(県) ·辛川鹿本線(県市)
- 都市圏南部の渋滞対策〈県市〉 ・(都)池田町花園線〈市〉 など

■交差点改良や信号制御の最適化等の実施

- ・熊本益城大津線(第二空港線)・熊本空港線(第一空港線) など
- ■車から自転車などへの転換
- 〇自転車 · 歩行者空間整備
 - ・熊本高森線((都)益城中央線)(県)・大津植木線(多車線化)(県)など

県市で連携して取り組む 公共交通施策 〜車から公共交通への"転換"を促す取組〜

公共交通分担率※を2倍にする

※目的地までの移動に利用される全ての交通手段のうち、公共交通が占める割合

【熊本都市圏パーソントリップ調査より】※熊本都市圏総合交通計画協議会第5回委員会資料より抜粋 公共交通: 5.3 %(鉄道: 1.5 %、市電: 1.0 %、パス: 2.8 %)

■公共交通の輸送力強化と基盤整備

- ・「交通連合/運輸連合※」の実現
 - ※持続可能な交通を目指し、公共交通の利便性を高めるため、 行政と交通事業者が一体となった組織
- ・阿蘇くまもと空港アクセス鉄道整備
- ・豊肥本線の速達性向上や複線化
- ・バス優先/専用レーン整備
- ・路線バスの輸送力向上
- •BRT/LRTの活用
- ・電鉄を軸とした新たな公共交通ネットワークの構築
- •市電延伸((仮称)東町線)
- ・自動運転バスの社会実装

抜本対策(長期) 11年~

■広域道路ネットワークの構築

- •中九州横断道路〈国〉
- ・国道3号 植木バイパス〈国〉
- •熊本都市圏3連絡道路

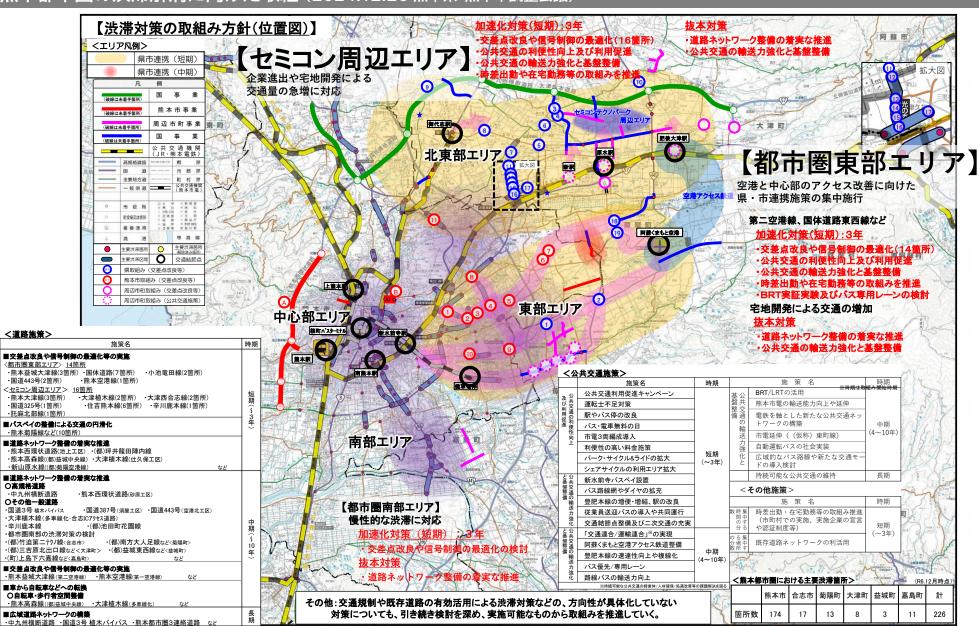


連携

■持続可能な公共交通の維持



熊本都市圏の渋滞解消に向けた取組(2024.12.26 熊本県・熊本市調整会議)

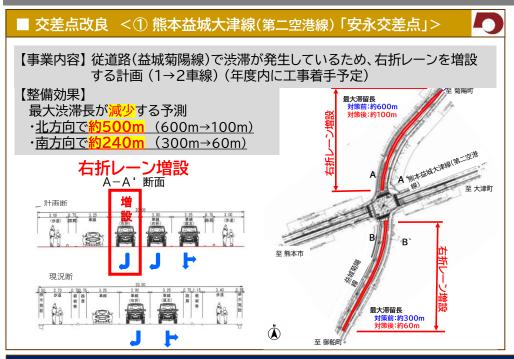




交差点改良30箇所の進捗状況 <短期対策>

実施主体	箇所数	状況			
		未着手	設計中	施工中	完了
熊本県	19	0	16	2	1
熊本市	11	0	2	1	8
計	30	0	18	3	9

交差点改良の主な取組状況 <短期対策>





■ 信号制御の改善 <熊本都市圏全体>

- 【事業内容】◆交差点改良と併せた信号制御の最適化 ⇒③ 熊本大津線(仮)竹迫北交差点
 - ◆主要渋滞箇所の多い路線での信号制御の最適化 ⇒国道3号(近見~清水本町)、通称白山通り(世安~白山)、国道325号等(本田技研入口~空港大橋北)





(2) 熊本西環状道路(池上エ区)の開通状況







(2) 熊本西環状道路(池上工区)の開通状況

- 池上工区(4.6km) <u>令和7年10月19日(日)</u>午後3時に開通
- <u>開通1週間後</u>に交通量調査(速報値)を実施 以下の効果を確認



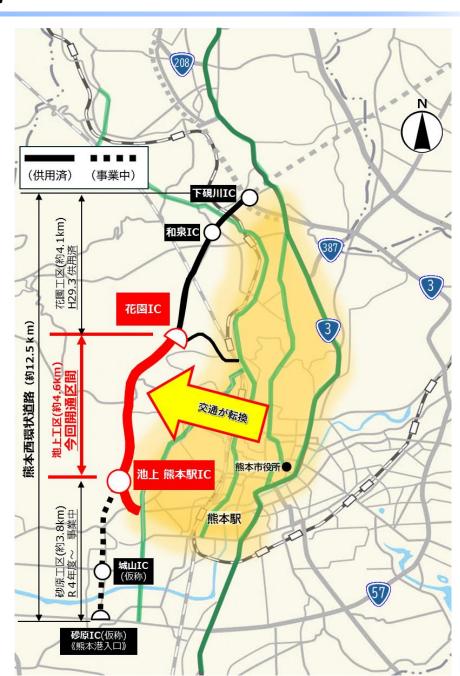
- 国道3号などの交通の転換による 交通渋滞の緩和
- ・定時性・速達性の高い新たな移動経路の 確保による<u>ダブルネットワーク機能の</u>構築



【テープカットの様子】



【西環状道路(池上工区)開通状況】



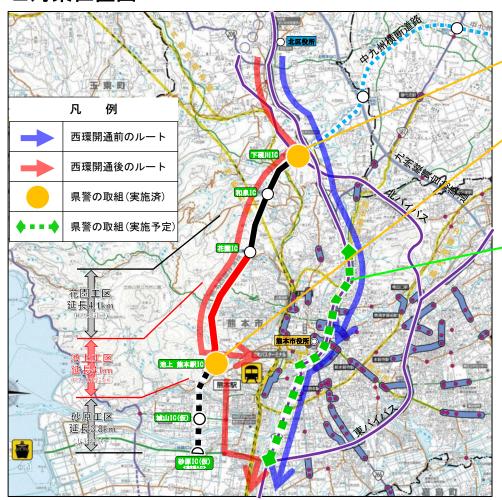


(2) 熊本西環状道路(池上工区)の開通状況

信号制御の最適化等の取組み

- 熊本西環状道路の効果を最大化できる取組みとして、開通に合わせて下硯川IC付近及び池上熊本駅IC付近の信号制御 の見直しを実施
- 今後の取組みとして国道3号の信号制御の最適化を実施し、民間データによる交通状況が把握可能なシステムを導入予定

■対策位置図



■取組内容

1. 取組状況

〇下硯川IC付近

西環の開通に合わせ、信号現示(時差・左折)を追加するなど、 信号制御の見直しを実施

〇池上熊本駅IC付近

インターチェンジ入口付近の交差点改良と連携した信号現示 (右折)を追加するなど、信号制御の見直しを実施

2. 今後の取組

○国道3号(近見~清水本町)

西環の開通後の交通状況に合わせた信号制御の最適化を実施 予定

○交通渋滞対策支援システムの導入

民間データにより交通の状況が把握可能なシステムを導入予定







(3) 第二空港線の円滑化に向けた取組

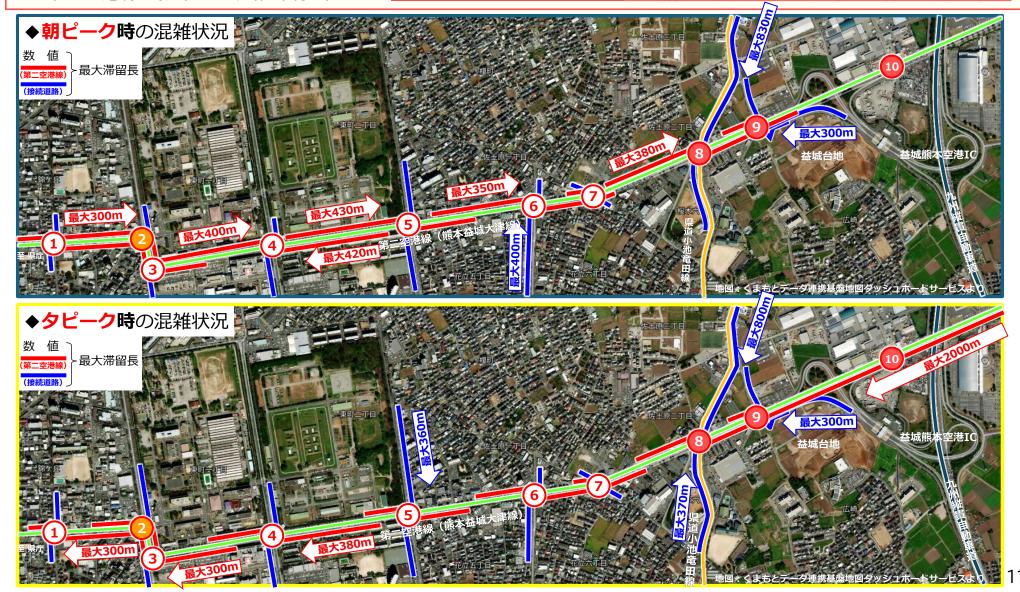






(3) 第二空港線の円滑化に向けた取組

- (主)熊本益城大津線(第二空港線)は交通渋滞が慢性化しており、市民生活や経済活動に支障をきたしている
- 第二空港線の抜本的な混雑解消に向けて、熊本県・熊本市・益城町・県警が連携して交差点の改良等に一体的に取り組む







(4) JR豊肥本線を軸とした取組





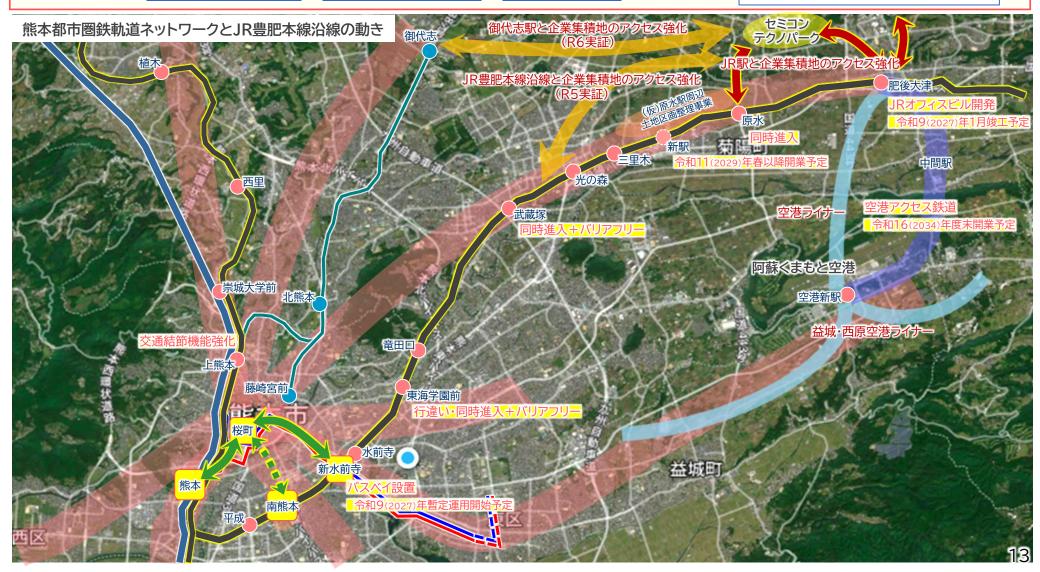


(4) JR豊肥本線を軸とした取組

■ 空港アクセス鉄道整備を契機に、JR豊肥本線の輸送力強化及び交通結節機能の強化、沿線のまちづくりに取り組む

【熊本県】「<u>菊池南部地域</u>」及び「<u>空港周辺地域</u>」での二次交通の充実に向けた支援を実施 【熊本市】「新水前寺バスベイ設置」「南熊本快速バスの運行」「駅バリアフリー化」を推進中

【県・市】 「チャリチャリポートの更なる拡充」





(4) JR豊肥本線を軸とした取組

交通結節点における主な取組 <熊本市の取組>

■ 南熊本快速バス <南熊本駅前~新市街~桜町バスターミナル>

JR新水前寺駅の利用者分散

中心市街地とJRを結ぶ基幹軸の強化

南熊本への人流創出

<運行期間> 令和8年(2026年)1月13日(火) ~ 2月13日(金) ※平日のみ運行

<ダ イ ヤ> 午前7時~9時 のうち10本 ※JR南熊本駅(上り)到着時刻の3分後

<運 賃> 200円均一 ※市電定期利用者は無料

背 景

- ▶ JR新水前寺駅から市電への乗り換えが非常に多く、駅と電停を結ぶ自由通路まで人が並び、横 断歩道にも人が溢れている
- ▶ 半導体関連企業の進出や空港アクセス鉄道整備等、豊肥本線は今後も利用者増加が見込まれる



■ シェアサイクル ~チャリチャリ~ <JR豊肥本線沿線をすべてカバー>

令和4年(2022年)4月から実証実験スタート、令和6年(2024年)4月から本格運用へ移行

- 導入当初と比較すると、利用エリアは12倍(6.3→75km)、ポート数は14倍(42→578か所)、 自転車台数は19倍(110→2.050台)に増加 ※R7.10.31時点
- ▶ 手軽な1分単位の料金体系で、1日の最高利用回数は6千回を超えるなど引き続き好調を維 持しており、市民の移動手段の一つとして定着
- ▶ 本年9月には運動公園・武蔵塚エリアまで利用エリアを拡大し、JR豊肥本線沿線及び各駅周 辺がすべてエリア内となった



▲ベーシック **7**円/分 ▲雷動アシスト **17**円/分

利用状況(令和4年4月~令和7年10月)

利用者数 約220万人 利用回数 約302万回 (最高 4.638人/日) (最高 6.514回/日)













- ■「1万人のオフピーク通勤」について、<u>県・市・民間企業が積極的に時差出勤等を推進し「1万人」を達成</u> (9月)
- 引き続き、パートナー登録企業周辺の交通状況の変化について効果検証を進める

時差出勤又はテレワーク 実施者数 (R7.9)

(速報値)10,679人

実施者

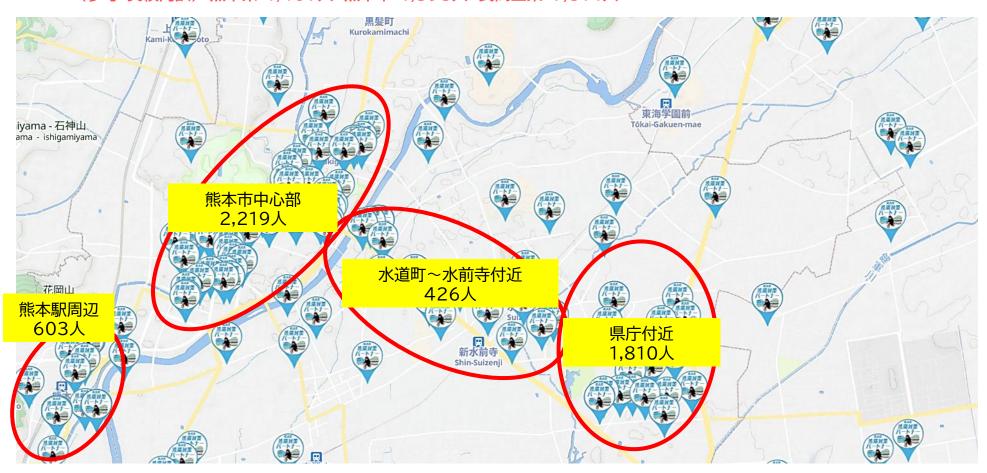
県、市、肥後銀行、 パートナー登録事業者 等 パートナー登録事業者数 (R7.9時点)

275 社

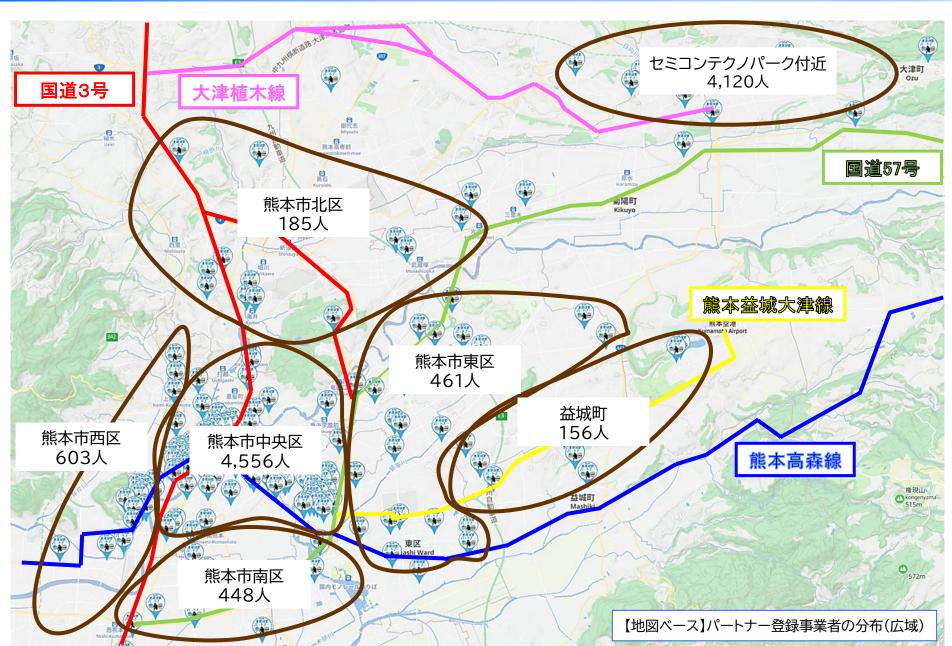
今後の予定

登録事業者周辺の主要渋滞箇所において、 交通状況の調査を実施して効果を分析

(参考:実績内訳) 熊本県:1,467人 熊本市:1,398人 民間企業:7,814人









「1万人のオフピーク通勤」に向けた取組 <熊本市の取組 ~働き方改革Weeks2025~>

働き方改革Weeks2025

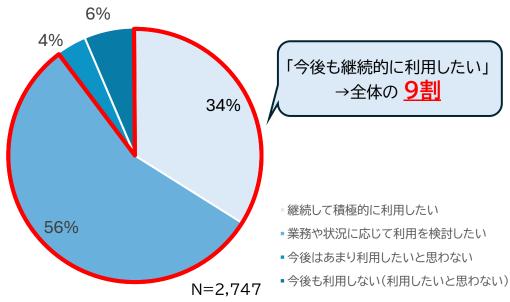
期間: 令和7年(2025年)7月1日(火)~7月31日(木)

対象: 全職員

内容:①時差出勤、②フレックスタイム、③テレワーク

問) 今後も制度を継続して利用したいですか

※「働き方Weeks2025」アンケート(R7.8.1~R7.8.15)
回答者:2.747人



本市職員の時差出勤実施状況の推移



一定程度の定着が確認される一方で、実施率が低い部署にヒアリングを行うと、

「対外業務や電話対応が多いため馴染まない」、「早出しても帰りにくい雰囲気がある」などの意見も

→今後関係各課と協力し、本市職員の更なる実施人数増加を目指していく